

令和元年度

事業報告書

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

社会福祉法人 春日部市社会福祉協議会

令和元年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告

自:平成 31 年 4 月 1 日

至:令和 2 年 3 月 31 日

1. 法人運営

(1) 理事会・評議員会等の開催

会議名	会議開催日	議題
(1) 監事会	令和元年 5 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について ・平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について ・平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について ・平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について ・平成 30 年度埼玉県共同募金会春日部市支会事業報告について ・平成 30 年度埼玉県共同募金会春日部市支会収支決算について
(2) 第 1 回理事会	令和元年 5 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事候補者の選定について ・社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事候補者の選定について ・社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・令和元年度第 1 回評議員選任・解任委員会の招集について ・春日部市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱の制定について ・平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について ・平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について ・平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について ・平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について

(3) 第 1 回評議員選任・解任委員会	令和元年 5 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和元年度第 1 回評議員会の招集について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員の選任について
(4) 第 1 回評議員会	令和元年 5 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事の選任について ・ 春日部市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱の制定について ・ 平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について ・ 平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について ・ 平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について ・ 平成 30 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について
(5) 第 2 回理事会	令和元年 5 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会会長の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会副会長の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会常務理事の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
(6) 第 3 回理事会	令和元年 7 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・ 令和元年度第 2 回評議員選任・解任委員会の招集について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会定款の一部改正について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和元年度第 2 回評議員会の招集について

(7) 第 2 回評議員選任・解任委員会	令和元年 7 月 29 日	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員の選任について
(8) 第 2 回評議員会	令和元年 7 月 30 日	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会定款の一部改正について
(9) 第 4 回理事会	令和元年 12 月 17 日	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事候補者の選定について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員候補者の選定について ・ 令和元年度第 3 回評議員選任・解任委員会の招集について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和元年度第 3 回評議員会の招集について
(10) 第 3 回評議員選任・解任委員会	令和元年 12 月 19 日	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員の選任について
(11) 第 3 回評議員会	令和元年 12 月 25 日	・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事の選任について
(12) 第 1 回正副会長会議	令和 2 年 3 月 12 日	・ 春日部市地域福祉活動計画の承認について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会苦情解決に関する第三者委員の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会の専任職員の採用、給与その他の勤務条件等に関する規程の一部改正について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算（案）について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和元年度第 4 回評議員会の招集について

(13) 第 5 回理事会	令和 2 年 3 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春日部市地域福祉活動計画の承認について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会苦情解決に関する第三者委員の選任について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会の専任職員の採用、給与その他の勤務条件等に関する規程の一部改正について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算（案）について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和元年度第 4 回評議員会の議決の省略について
(14) 第 4 回評議員会	令和 2 年 3 月 26 日 (書面表決)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春日部市地域福祉活動計画の承認について ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会の専任職員の採用、給与その他の勤務条件等に関する規程の一部改正について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算（案）について ・ 令和 2 年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算（案）について
(15) 第 6 回理事会	令和 2 年 3 月 26 日 (書面表決)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会施設管理者等の選任について

○ 役員視察研修

台風 19 号の影響により中止

令和元年 11 月 26 日

社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

「こどもの居場所づくりについて」

(2) 住民・法人会員制度の充実

社協会員の募集は、年間を通して行っているが、令和元年度も5月～6月の2ヵ月間を会員募集の「強化期間」として取り組んだところ、地域の皆様をはじめ、企業・団体の方々から多大なる協力をいただいた。

説明会日程：庄和(4月17日)、豊春(4月18日)、粕壁(4月19日)、豊野(4月23日)
武里(4月24日)、幸松(4月25日)、内牧(4月26日)

社協会員会費実績

会費種別	目標額	実績額	達成率
一般会費	30,400,500円	21,978,526円	72.3%
賛助会費	—	1,008,000円	—
特別会費	—	740,000円	—
合計	—	23,726,526円	—

(3) 広報の充実

- 社協広報紙「あしすと」及び社協「紹介冊子」の発行・ホームページでの情報提供

社協活動の発信や福祉への理解等を促進するため、社協広報紙「あしすと」及び社協「紹介冊子」の発行を行うとともに、ホームページの更新を適宜行うことで、最新の情報提供に努めた。

- ・社協広報紙「あしすと」：年3回(7月、11月、3月)
- ・社協紹介冊子：年1回(6月)

- 有料広告

自主財源確保のため、社協広報紙「あしすと」に掲載する有料広告を募集したところ、4事業者と契約することができた。

- ・4業者 240,000円

2. 福祉事業の推進

(1) 生活課題の解決に向けた地域支え合い活動の推進

① コミュニティソーシャルワーク機能の充実

制度の狭間の問題や複合課題等への対応として、個人と地域、制度等をつなぐことで「地域における支え合いの仕組みづくり」につながるよう支援した。

② 生活支援体制整備事業(市受託事業)

高齢化が進む中で生じる地域の抱える課題に対し、地域の社会資源である地縁組織やボランティア、社会福祉施設等様々な立場の人が生活支援を行う「地域で支える仕組みづくり」を推進した。

- 支え合い会議（協議体）の開催（第1層：市圏域、第2層：支部社協圏域）
地域の情報を様々な立場の人で共有するため、「第1層支え合い会議」を開催し、また、支部社協、地域包括支援センター等と連携し各地区（支部社協圏域）に「第2層支え合い会議」を設置した。

「かすかべ支え合い会議」（第1層協議体）

令和2年1月28日 参加者：38名

内容：令和元年度事業実績・今後の取組みについて

- 担い手養成講座の開催

地域住民が社会参加、社会的役割を持つ事で生きがいきづくり、介護予防に加え、地域づくりにつなげられるよう、各地区において地域活動を担う人材を養成した。

- ・市全域 令和元年11月27日 会場：あしすと春日部

参加者：53名

講演「福祉SOSゲームで社会資源を学ぼう」

- ・粕壁地区 令和元年12月11・18日 会場：あしすと春日部

参加者：14名

講演「支え合いの必要性」「地域診断のすすめ」

助けられ上手・助け上手体験ゲーム

グループワーク「地域診断のまとめ」

「自分たちの地域に必要な活動を考えよう」

- 訪問型サービスA従事者養成研修の開催

生活支援サービスの担い手育成の一環として、市指定訪問型サービスA事業所で生活支援を担う従事者を養成した。

令和元年6月11日・13日 全11時間 受講者：2名

③ しゃべる場の開催

地域の社会資源の拡大、地域の強みや課題共有を進め、新たな支え合い活動につなげていくため、第3層圏域（単位・複数自治会圏域）において、第2層生活支援コーディネーター（各地域包括支援センター）と連携して、しゃべる場を次のとおり実施した。

地区	内容	開催日	参加者数
武里団地	武里団地しゃべる場	令和元年6月10日	79名
豊野	豊野地区しゃべる場	南部	6月22日・28日
		中部	6月15日・21日
		北部	6月29日・7月5日
豊春	上蛭田しゃべる場	7月26日	16名
粕壁	内谷しゃべる場	11月21日・29日	29名
豊春	紫チーム合同しゃべる場	令和2年1月31日	36名
武里	第4ブロックしゃべる場	2月20日	12名

④ 市内社会福祉施設等との連携

制度の狭間の問題や新たな課題等に対する地域の支え合い活動の推進のため、福祉施設等と地域との協働を進めた。

○ 「春日部市社会福祉法人連絡会」の設立

「春日部市社会福祉法人連絡会」設立に向け、準備会を4回開催するとともに、アンケートを実施した。

対象：市内の社会福祉法人 31 法人

準備会参加施設

法人名	施設名
春日部福祉会	百合の郷
孝楽会	孝楽園デイサービスセンター
子供の町	子供の町 エンジェルホーム
春栄会	おおまし
庄和和合会	庄和和合
福一会	フラワーヒル
朋映会	春日部勝彩園
ウエルガーデン	ウエルガーデン春日部

アンケート

「地域における公益的な取組」及び「連絡会」についてのアンケート

調査期間 令和元年9月30日～10月18日

有効回答数 9件

「社会福祉法人連絡会（仮称）についてのアンケート」

調査期間 令和元年12月12日～令和2年1月30日

有効回答数 9件

「ひとり親家庭の居場所づくり」についてのアンケート

社会福祉法人の専門性を活かした、社会貢献活動の参考とするため「ひとり親家庭バス旅行」参加者に対しアンケートを実施

調査期間 令和2年3月1日～3月24日

有効回答数 15件

○ 「地域開放スペース」の推進（「地域開放スペースマップ」の発行）

市内の福祉施設等と地域とをつなぐため、法人の運営する施設内の会議室等を地域住民へ開放する「地域開放スペース」の拡充に努めた。また、担い手養成等において「地域開放スペース」を活用することにより、福祉施設等と地域との協働を進めた。

福祉施設等 17 団体協力 2 回発行

○ 「かすかべお役立ちマップ」の発行

地域の支え合い活動の啓発、利用促進の「見える化」を図るため、サロンや会食会、生活支援団体等の地域の支え合い活動を掲載した「お役立ちマップ」を発行した。

210 団体掲載

⑤ 彩の国あんしんセーフティネット事業

既存の制度では対応しきれない制度の狭間にある生活困窮者等が抱える生活課題に対し、市内の社会福祉法人との協働により相談支援を実施した。

- ・ 支援件数 1 件
- ・ 支援内容 相談支援、経済的支援、食糧支援
- ・ 市内参加施設 5 法人 7 施設

法人名	施設名
孝楽会	孝楽園デイサービスセンター
子供の町	エンジェルホーム 子供の町
庄和和合会	庄和和合
春日部福祉会	百合の郷
かがやき	ひかり そら

⑥ かすかべ家事サービス事業

日常生活上の援助を必要とする利用会員（高齢者・障がい者等）に対し、協力会員による家事援助を実施した。

○ 協力会員研修会

- 令和元年 7 月 23 日 調理実習「血液サラサラメニュー」
- 令和元年 10 月 15 日 講義「高齢者に多い病気の予防と健康づくりについて」
- 令和 2 年 1 月 31 日 講義・実技「目からウロコ！知って得するお洗濯のコツ」

○ 協力会員養成研修会

- 令和元年 6 月 17 日 実践報告「通院介助サービスに入って」
実技「車いすの操作について」
「杖歩行の注意点について」
- 令和 2 年 3 月 2 日・6 日 傾聴講座「傾聴向上のコツ」

- 実績 会員数：利用会員 126 名 協力会員 79 名
支援件数：2,553 件 時間数：3,570.5 時間

⑦ ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

地域の支え合い活動により、仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、子育て支援の充実を図った。

○ 会員養成講座

日程	内容	参加者数
令和元年 5月29日・30日	事業説明	12名
8月28日・29日	講義 子どもの健康と安全について	11名
11月21日・22日	保育の心構えと子どもの接し方について	12名
令和2年 2月6日・7日		10名

○ スキルアップ講座

日程	内容	参加者数
令和元年 6月14日	子どもの緊急時の対応について	7名
10月11日	ちょっと気になる子どもの関わり方と親への理解	26名
12月12日	子どもの栄養について（調理実習）	10名

○ 会員交流会

日程	内容	参加者数
令和元年 7月7日	【ダメな子なんていない】 怒鳴らない子育て練習講座	18名

○ 会報紙の発行 年1回（3月）

○ 実績 会員数：依頼会員：988名 提供会員：209名 両方会員：118名

合計：1,315名

活動件数：2,964件

無料券交付件数：6件（利用者6名、無料券86枚使用）

コロナウイルスの影響による利用料助成：利用者3名

⑧ 子どもの貧困問題への対応

子どもの貧困問題とその連鎖への対応や社会的孤立を防ぐため、地域の支え合いについて考える講座の開催をするとともに、子どもの居場所づくりの実践者やアドバイザーを地域に派遣した。

○ ボランティア講座の開催

「地域で外国人の子どもを支えよう」

令和元年10月7日 参加者：53名

講義・ワーク 「地域で外国人の子どもを支えよう」

○ こども to マルシェ

令和元年 8 月 19 日・30 日

平成 30 年度ボランティア講座受講者を中心に「子どもの居場所づくり」を実施

会場：あしすと春日部

内容：おやつづくり、工作・手作りゲーム

○ 子どもサロン「わくわくの森」開催

日程	参加者（延べ）
4 月 3 日・4 日・5 日	46 名
8 月 6 日・7 日・9 日	34 名
12 月 25 日・26 日・27 日	25 名

会場：牛島ボランティアセンター

内容：モノ作り、レクリエーション

(2) 支部社協活動の推進

より身近な地域福祉を推進するため、その中心的な役割を担う各支部社協（粕壁・内牧・武里・豊春・幸松・豊野・武里団地・庄和）と市社協とがきめ細かな情報共有を図りながら、地域の様々な課題や特性に応じて、各種事業を展開した。

○ 支部社協活動の支援

各支部社協に対し、地域福祉事業を推進するため、活動費の交付を行った。

支部名	助成額	支部名	助成額
粕 壁	2,267,000 円	幸 松	1,712,000 円
内 牧	1,176,000 円	豊 野	1,466,000 円
武 里	2,310,000 円	武里団地	583,000 円
豊 春	2,128,000 円	庄 和	2,006,000 円

○ 支部社協歳末福祉事業活動助成金

支部社協が実施する歳末福祉活動に対し助成をすることにより、より身近な歳末福祉活動の推進を図った。

支部名	助成額	支部名	助成額
粕 壁	228,000 円	幸 松	175,000 円
内 牧	123,000 円	豊 野	160,000 円
武 里	305,000 円	武里団地	82,000 円
豊 春	262,000 円	庄 和	261,000 円

① 見守り・声かけ活動

70 歳以上の単身、夫婦世帯及び日中単身者を対象に、安否確認や相談支援等を実施した。

② ふれあい会食会

各地域の公民館等を会場とし、単身や夫婦世帯を対象に「ふれあい会食会」を実施した。

支部名	実施日	支部名	実施日
粕壁	対象者へ商品券配付	豊野	11月28日
内牧	11月22日	幸松	各地区にて実施
武里	9月26日・11月28日	武里団地	5月12日・6月9日
豊春	11月24日	庄和	11月7日・8日 配食

③ ふれあい・いきいきサロンの推進

地域での交流や居場所づくり、生きがいを進めるため、「ふれあい・いきいきサロン」の設置促進や活動助成を実施した。

登録団体数

支部名	高齢者	介護者	子育て	地域交流	計
粕壁	6	-	-	-	6
内牧	6	-	-	-	6
幸松	6	-	-	-	6
豊野	8	-	1	2	11
武里	15	-	1	2	18
豊春	29	-	-	2	31
武里団地	1	-	-	-	1
庄和	15	-	1	3	19
計	86	-	3	9	98

助成額 1,470,000円 (98団体)

○ ふれあいいきいきサロン研修

令和2年3月13日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④ 支部社協相互情報交換会

令和元年12月13日

より地域に根ざした地域福祉活動を推進するため、支部社協活動の現状や課題について、情報交換会を開催した。

(3) 権利擁護の推進及び相談支援体制の充実

① 福祉サービス利用援助事業（県受託事業）

県社協の委託を受け、判断能力が不十分なため日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを実施した。

○ 実績：利用者数43名 生活支援員数18名 相談件数1,109件 支援件数672件

○ 生活支援員研修

- ・令和元年 6月13日 救命講習
- 9月25日 合同視察研修 国際福祉機器展 H.C.R. 2019
- 12月22日 ボランティア交流会「障害者スポーツと共生社会」
- ・令和2年 2月14日 「ひきこもり支援について」・交流会

② 生活福祉資金貸付事業

世帯の生活の安定や自立の更生を図るため、生活が困窮している世帯に対し、相談や福祉資金の利用支援を行った。

申請件数：32件

《内訳》	・ 総合支援資金	0件
	・ 福祉資金	6件
	・ 教育支援資金	8件
	・ 緊急小口資金	6件
	・ (特例貸付) 緊急小口資金	10件
	・ 要保護不動産担保型資金	2件

③ 小口福祉資金貸付事業

生活が困窮している会員（住民）世帯の生活の安定や自立の更生を図るため、福祉資金の貸付を実施した。また、償還滞納世帯に対し、督促状を送付するなどの償還指導を行った。

- 新規貸付件数及び貸付金額 118件 2,197,000円
- 償還件数及び償還金額 118件 2,192,000円
- 未償還金額(累計) 2,112,000円

④ 心配ごと相談事業

日常生活から発生する悩み事など心の問題や法律の問題を、臨床心理士・弁護士が相談員となり、問題解決に向け支援を行った。

- 心の相談 毎月第2・第4金曜日（午前9時～正午）
相談員：1名（臨床心理士）
相談件数：31件
- 弁護士相談 毎月第2・第4金曜日（午後1時～午後4時）
相談員：2名（弁護士）
相談件数：79件

(4) ボランティア活動の推進

地域福祉の推進を図るため、担い手となる「ボランティア」の育成及び活動支援を行った。

① ボランティアセンターの運営

○ ボランティア相談

相談件数 225 件

マッチング件数 115 件

ボランティア活動の推進を図るため、ボランティア活動希望者やボランティアグループに対して、ボランティア活動の紹介・情報提供等を行った。

また、介護保険施設等からのボランティア派遣の依頼に対し、必要に応じボランティアの調整を行った。

○ ボランティアパートナーの配置（牛島・浜川戸・武里地区ボランティアセンター）

ボランティア活動に関する相談対応や情報提供等を行うため、ボランティアセンターにボランティアパートナー9名を配置した。

月曜日～金曜日（午前10時～午後4時）

○ ボランティアパートナー会議の開催（月1回開催）

パートナー同士の情報交換や資質向上を図るため、定期的に会議を開催した。

○ ボランティアセンターの貸出

センター	件数	利用者数
春日部	121 件	350 名
浜川戸	20 件	30 名
牛島	130 件	1,257 名
武里	40 件	145 名
計	311 件	1,782 名

② ボランティアの育成及び活動支援

○ ボランティアの育成及び活動支援

ボランティア活動の啓発及びボランティア自身が地域の課題解決への担い手となるよう支援した。

・「ボランティア交流会」の開催

令和元年12月22日 参加者：37名

講義・体験 「障害者スポーツと共生社会」

・彩の国ボランティア体験プログラム事業

プログラム数：45 参加者数：50名

- ・「集まれ！ボランティア広場」
令和元年6月16日 協力・会場：イオンモール春日部
内容：マジック教室、パネルシアター体験、外国の文化・料理の紹介や
単語教室、高齢者疑似体験
- ・「ボランティアフェスティバル」※ 台風19号の接近に伴い中止
令和元年10月12日 協力・会場：ララガーデン春日部
共催：春日部市ボランティア活動推進連絡会
- ・「地域デビュー体験会」※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和2年3月27日 協力・会場：ララガーデン春日部

○ ボランティア活動への助成

ボランティアグループの育成やボランティア活動の振興を図るため、育成費の助成を実施した。 交付団体：53団体

○ 単身高齢者給食・配食サービス等の実施

単身高齢者や高齢者夫婦を対象に、食を通じた交流の場、地域での居場所を作るため、ボランティアグループ等と小地域での会食会（配食）活動を支援した。

地区給食会実施内訳（延べ利用対象者数3,931名、延べ活動者数1,671名）

ボランティアグループ：9団体 81回開催

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月中止）

モンキーポート粕壁	モンキーポート豊春東
モンキーポート豊春西	モンキーポート武里
モンキーポート豊野	モンキーポート武里団地
ほのぼの会	新ふれあい会食会
会食会こすもす	

小地域：18団体 27回開催

武里西地区民生・児童委員	武里西民協須賀地区
牛島地区福祉ニーズ対策委員会	八丁目地区福祉ニーズ対策委員会
武里西大場地域	小渕地区福祉ニーズ対策委員会
新川島自治会	文化村ふれあい会食会
不動院野地区	藤ヶ丘自治会
本田下自治会	本田上地区ふれあいチーム
みどり会	白百合自治会
幸松・連合地区	いきいきサロン六軒町ふれあい会食会
三本木自治会	荻原自治会

③ 災害ボランティアセンターの対応

災害ボランティアの養成や災害ボランティアセンターの開設や運営に備えるため、各種講座や訓練を実施した。

○ 災害について考える

令和元年11月11日 参加者：37名

講義 「災害時のこころのケア」

○ 災害ボランティア登録者養成講座

令和2年1月25日 参加者：25名

講義 「今後想定される災害について」

「災害時対応力研修」

災害ボランティアセンター設置運営訓練

※災害ボランティアセンター設置訓練を兼ねて実施

○ 災害ボランティアセンター設置訓練

令和2年1月25日

講義 「今後想定される災害について」

「災害時対応力研修」

災害ボランティアセンター設置運営訓練

※災害ボランティア登録者養成講座を兼ねて実施

④ 庄和社会福祉センターの貸出

地域福祉推進を図るため、福祉活動の場として施設の貸出を行った。

実績：利用件数 1,045件 利用者数 12,189名

(5) 福祉教育の推進及び福祉人材の養成

① 福祉教育の推進

高齢者や障がい者（児）など、誰もが地域の一員であるという意識の醸成を図るため、小中学校やボランティア等の協力のもと地域活動への参加を通して福祉教育を進めた。

内 容	体験者数(延べ)
車椅子体験学習	1,545名
福祉講演	792名
アイマスク体験学習	727名
手話体験学習	889名
点字体験	702名
高齢者疑似体験	832名
合 計	5,487名

体験実施区分	件数	体験者数(延べ)
小学校	48件	4,433名
中学校	6件	278名
その他	4件	776名
合 計	58件	5,487名

② 敬老会の開催

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者の長寿を祝うとともに、市民の高齢者に対する敬愛の心を深めるため、満75歳以上の方を対象に「敬老会」を開催した。

令和元年9月14日・15日 会場：春日部市文化会館

※ 詳細については24ページ参照

③ ふれあい広場の開催

福祉の心豊かな市民運動の一環として、住み良いまちを築くため、福祉に対する理解を深めるとともに、交流の輪を広げ思いやりのある心を育てるために「ふれあい広場」を開催した。

令和元年11月2日 会場：ウイングハット

※ 詳細については26ページ参照

④ 社会福祉従事者の養成

社会福祉活動者の育成や地域への貢献を図るため、大学等から実習生の受け入れを行った。
社会福祉士現場実習

日数	人数	学校等	実習先
24日	1名	日本福祉大学	地域福祉担当
15日	1名	県立大学	地域福祉担当
24日	1名	立正大学	地域福祉担当
24日	1名	聖学院大学	地域福祉担当
24日	1名	東京福祉大学	リサイクルショップ
24日	1名	日本福祉大学	リサイクルショップ
合計	6名		

介護実習等

日数	人数	学校等	実習先
14日	21名	市立看護専門学校	あしすと春日部デイサービスセンター
14日	18名	市立看護専門学校	ゆっく武里デイサービスセンター
1日	12名	市立看護専門学校	訪問介護
2日	3名	市立看護専門学校	訪問介護
6日	6名	市立看護専門学校	包括支援センター
4日	1名	市障がい者支援課（入所希望者）	ふじ支援センター
1日	5名	春日部特別支援学校（中等部）	ふじ支援センター
1日	1名	春日部特別支援学校（高等部1年）	リサイクルショップ
5日	1名	春日部特別支援学校（高等部3年）	リサイクルショップ
5日	1名	春日部特別支援学校（高等部2年）	リサイクルショップ
4日	1名	春日部特別支援学校（高等部2年）	リサイクルショップ
5日	1名	春日部特別支援学校（高等部3年）	リサイクルショップ

4日	1名	市障がい者支援課（入所希望者）	リサイクルショップ
4日	1名	市障がい者支援課（入所希望者）	リサイクルショップ
3日	1名	春日部特別支援学校（高等部1年）	リサイクルショップ
1日	6名	春日部特別支援学校（中・高等部）	リサイクルショップ
1日	2名	春日部特別支援学校（中学部3年）	あおぞら
9日	2名	春日部特別支援学校（高等部3年）	ゆりのき支援センター
5日	2名	春日部特別支援学校（高等部2年）	ゆりのき支援センター
10日	6名	春日部特別支援学校（高等部1年）	ゆりのき支援センター
1日	1名	春日部特別支援学校（中学部3年）	ゆりのき支援センター
2日	2名	春日部特別支援学校（中学部2年）	ゆりのき支援センター
2日	2名	春日部特別支援学校（中学部1年）	ゆりのき支援センター
1日	1名	宮代特別支援学校（中学部1年）	ゆりのき支援センター
4日	1名	市障がい者支援課（入所希望者）	ゆりのき支援センター
5日	1名	春日部特別支援学校（高等部3年）	ひまわり園
4日	1名	春日部特別支援学校（高等部2年）	ひまわり園
3日	1名	春日部特別支援学校（高等部1年）	ひまわり園
3日	1名	宮代特別支援学校（高等部3年）	ひまわり園
1日	5名	春日部特別支援学校（中等部3年）	ひまわり園
3日	2名	中学生社会体験チャレンジ事業	ふじ支援センター
3日	6名	中学生社会体験チャレンジ事業	ゆりのき支援センター
3日	5名	中学生社会体験チャレンジ事業	ひまわり園
3日	3名	中学生社会体験チャレンジ事業	あおぞら
3日	4名	中学生社会体験チャレンジ事業	リサイクルショップ
3日	2名	中学生社会体験チャレンジ事業	ゆっく武里デイサービスセンター
3日	2名	中学生社会体験チャレンジ事業	地域活動支援センター
合計	132名		

（6） 在宅福祉の支援

① 紙おむつ配付事業

経済的負担の軽減や在宅での介護を支援するため、在宅の寝たきり高齢者や重度障がい者のいる世帯に対し、紙おむつを2割負担で配付した。

配付回数：年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

対象者：高齢者 65歳以上の課税世帯で要介護4・5に該当する方

障がい者 3歳以上65歳未満の身体障害者手帳1・2級または療育手帳㊦・Aを所持し、肢体不自由のうち下肢または体幹機能障害のある方で、紙おむつ以外の方法で排泄処理が出来ない方

配付件数

	フラット タイプ	テープタイプ			尿取り パット	パンツタイプ				子供用 テープ・ パンツ	計
		S	M	L		S	M	L	LL		
高齢者	16	4	133	56	174	8	137	100	51	0	679
障がい者	12	6	20	31	24	6	10	21	8	21	159
合計	28	10	153	87	198	14	147	121	59	21	838

② 車椅子貸出事業

高齢者等歩行が困難な方への外出支援や福祉教育の推進を図るため、車椅子の貸出を行った。

利用件数 204 件

③ 有償ホームヘルプサービス事業

介護保険制度や障害者総合支援法に定めるホームヘルプサービス事業を補完するため、有償ホームヘルプサービスの提供を実施した。

実績 利用者実人数 0 名 対応時間数 00 時間 00 分

④ 歳末援護金配付事業

援護世帯及び対象者に歳末援護事業（3,000円分の市内共通商品券配付）を実施した。

・ 実績	低所得世帯	0 件	身体障がい児・者	378 件
	知的障がい児・者	198 件	精神障がい児・者	7 件
	寝たきり・認知症高齢者	55 件		
	合計 638 件		合計金額	1,914,000 円

(7) 社会参加の促進及び機会の提供

① 手話通訳派遣事業

社会生活におけるコミュニケーション等を円滑にするため、聴覚障がい者や音声、言語機能障がいのある方に対し、手話通訳者の派遣を行った。

手話通訳者 8 名 手話通訳利用者 50 名

派遣内容別依頼件数及び通訳者の派遣人数（団体を除く）

派遣依頼内容	医療	教育	職業	生活	住宅	その他	計
派遣依頼件数	758 件	0 件	50 件	261 件	0 件	46 件	1,115 件※
通訳者の派遣人数	757 名	0 名	62 名	269 名	0 名	55 名	1,143 名

派遣依頼先別依頼件数及び通訳者の派遣人数（団体を除く）

派遣依頼先	市内	市外	都内	圏外	計
派遣依頼件数	1,035 件	56 件	5 件	14 件	1,110 件※
通訳者の派遣人数	1,052 名	72 名	5 名	14 名	1,143 名

※依頼件数：県外依頼等のため一致しない

団体における派遣内容別依頼件数及び通訳者の派遣人数

派遣依頼内容	講演会	会議	式典等	その他	企業	団体	計
派遣依頼件数	8 件	10 件	8 件	12 件	1 件	1 件	40 件
通訳者の派遣人数	14 名	17 名	15 名	29 名	2 名	1 名	78 名

② 障がい児ふれあいバス旅行 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

親子や各家庭間の交流を深めるため、18歳までの障がい児とその家族を対象に日帰りバス旅行の機会を提供するもの。

令和2年3月14日 行先：宝台樹スキー場

③ ひとり親家庭バス旅行

親子や各家庭間の交流を深めるため、ひとり親家庭の親子（原則として、子供は小学校6年生まで）を対象に日帰りバス旅行の機会を提供した。

令和元年8月17日 参加者：大人16名、子供24名 計40名

行先：よみうりランド

④ 福祉車両貸出事業

車椅子利用者の外出支援を図るため、高齢者や障がい者等に対して、福祉車両（計2台）の貸出を行った。

利用登録者43名 利用件数192回

(8) 介護保険事業

① 居宅介護支援事業

介護保険認定の高齢者に対して、心身の状況、周辺環境、本人やその家族の意向等を勘案し、適切な居宅サービスの利用が可能となるよう居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行った。また、居宅生活がケアプランに基づき円滑に行われるよう、指定居宅サービス事業者や関係機関と連携を図りながら適切な支援を行った。

ケアプラン作成件数 1,481 件

認定調査件数 23 件

② 訪問介護事業

要支援者や要介護者その家族等の負担軽減を図るため、介護計画等に基づきホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことが出来るように適切な援助を行った。

利用人数等

	訪問介護事業	第1号訪問事業
利用者実人数（月平均）	49名	22名
身体介護	3,239時間	
生活援助	1498.5時間	1,369時間
合計	4,737時間30分	1,369時間

③ 通所介護事業（あしすと春日部・ゆっく武里）

要支援者や要介護者の生活の助長、心身機能の維持向上等や、その家族の介護負担の軽減を図るため、通所による入浴、給食、生活指導等のサービスを提供した。

利用者数

		利用者実人数（月平均）	利用者数(延べ)
あしすと春日部	介護	49名	4,757名
	予防	8名	533名
ゆっく武里	介護	37名	3,844名
	予防	7名	494名

④ 地域包括支援センター事業（介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業）

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を営むため、高齢者やその家族、関係機関からの相談に応じ、在宅での生活を支援した。また、多職種協働による地域ケア会議を定期的開催し、個別ケースの課題解決にむけて協議した。

認知症地域支援推進員を配置し、研修や地域の行事参加を通して、地域住民や福祉専門職に認知症の正しい理解の普及・啓発に努めた。

【相談内容】

介護予防相談	105名	権利擁護相談	36名
医療関係相談	106名	経済的支援相談	8名
介護保険サービス等に関する相談	735名	その他	179名
		合計	1,169名

【認知症関連研修・実施事業】

認知症サポーター養成講座 2回開催

専門職向け研修会 1回開催

【オレンジカフェ（認知症カフェ）】

あしすと春日部にて毎月1回開催 延べ参加者数 456名

【認知症ケア総合推進事業等実績】

認知症の人やその家族及び関係機関等からの相談に応じた支援を実施した。介入が難しいケースは、各関係機関との連携をはかり対応した。認知症への正しい理解を深めるための啓発や、認知症ケアパスの普及を図った。

相談受付人数 214名

【介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業】

介護予防サービス計画作成状況 1,423件

介護予防ケアマネジメント計画作成状況 888件

【春日部市第2層生活支援体制整備事業】

日常生活上のちょっとした困りごとに対する手助け（支援）を必要とする高齢者の方々が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域住民による支えあい活動（生活支援）を広げるための体制を生活支援コーディネーターと共に図る

1. 地域のニーズと資源の状況の見える化
2. 地域の各種団体等への協力依頼及び関係者のネットワーク構築
3. 生活支援の担い手の養成やサービスの開発
4. 地域支え合い会議の開催

（9）障害福祉サービス事業

① 居宅介護事業（障がい者訪問介護）

日常生活を営むのに支障がある障がい者に対し、ホームヘルパーを派遣することで、適切な日常生活の援助を行うとともに、家族の介護負担の軽減を図った。

	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	移動支援	重度訪問介護	同行援護
利用者実人数 (月平均)	12名	1名	0名	13名	2名	3名	7名
身体介護	679時間 35分	64時間	0時間	106時間	63時間 35分	1141時間	0時間
家事援助 身体介護なし	1369時間 15分	64時間 50分	0時間	1372時間 25分	80時間 50分	0時間	847時間 30分
合計	2048時間 50分	128時間 50分	0時間	1478時間 25分	144時間 25分	1141時間	847時間 30分

② 地域活動支援センター事業（障害者デイサービス事業）

日常生活を営むのに支障がある身体障がい者に対して、通所により送迎、健康チェック、入浴、昼食、創作活動、レクリエーション、健康相談等の各種サービスを提供することにより、心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消、家族の身体的、精神的介護負担の軽減を図った。

利用者実人数（月平均）23名、延べ利用者数 1,658名

③ 障がい者通所支援施設の運営

(ふじ支援センター、ゆりのき支援センター、ひまわり園、あおぞら、リサイクルショップ)

市内に住所を有する 18 歳以上の身体障がい者、知的障がい者に対し、社会的自立を目指すため、作業指導・生活指導を通し以下の事業を実施した。

	定員	利用者数	利用者数(延べ)	月額平均支給工賃
ふじ支援センター	30 名	25 名	4,897 名	5,168 円
ゆりのき支援センター	30 名	28 名	6,295 名	4,304 円
ひまわり園	23 名	13 名	2,574 名	5,233 円
リサイクルショップ	24 名	20 名	4,340 名	7,394 円
あおぞら	17 名	15 名	2,833 名	

- ・ ふじ支援センター、ゆりのき支援センター、ひまわり園、リサイクルショップ
作業工賃支給向上のため、内職作業指導の他、自主製品等の販売を行った。
自立支援強化のため利用者の個別支援計画の見直しをはかり対応した。
春日部藤まつり、市民福祉まつりふれあい広場、春日部特別支援学校等の行事へ積極的に参加し地域交流及び啓発に努めた。
- ・ あおぞら
常に介護を必要とする人に排泄・食事などの介護を行うとともに、創作・生産活動の機会を提供した。
春日部藤まつり、市民福祉まつりふれあい広場に参加し、地域交流及び啓発に努めた。

④ 春日部市障害者就労支援センター運営事業

障がい者の就労に関する相談及び助言（利用者面接・登録等）就労を受け入れる事業所の開拓、職場実習の同行、関係機関及び事業所との連絡調整に関することや、就労後に必要な支援を行った。また、障がい者の雇用に関する事業所からの相談・支援を行った。

登録者数 712 名（身体 97 名、知的 290 名、精神 325 名）

就労者数 368 名（身体 35 名、知的 176 名、精神 157 名）

相談者数 1,497 名（身体 87 名、知的 457 名、精神 909 名、その他 26 名）

訪問支援 357 名（就労支援 125 名、定着支援 232 名）

(10) その他の事業

① 法外援護金支給事業

やむを得ない事情で所持金もなく、旅費等に困窮している行路者に援護金を支給した。

支給件数：7 件 支給額：2,100 円

② 各福祉団体への助成

地域福祉向上のため、下記の団体へ助成を実施した。

春日部市ボランティア活動推進連絡会	180,000 円
春日部市いきいきクラブ連合会	160,000 円
春日部市遺族連合会	72,000 円
春日部市手をつなぐ親の会	108,000 円
春日部市青少年相談員協議会	27,000 円
春日部市青少年育成推進員協議会	90,000 円

③ 共同募金運動の展開

各自治会をはじめ、各企業及び団体等の協力を得ながら、共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動を展開した。

募金期間：令和元年 10 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日

募金実績

	目標額	実績額	達成率
赤い羽根共同募金	21,049,000 円	19,333,192 円	91.8%
歳末たすけあい募金	4,983,000 円	5,127,896 円	102.9%

3. 収益事業

(1) 自動販売機設置経営事業の実施

社協運営の財源確保を図るため自動販売機（20 台）を設置。

設置場所：龍 Q 館、庄和総合支所（3 台）、藤塚公民館、正風館（2 台）、あしすと春日部消防署（本部）、消防署（東分署）、中央公民館、幸松第二公民館、水道部子育て支援センター（2 台）、文化会館（2 台）、春日部給食センター、庄和社会福祉センター、一ノ割公園

手数料収入：3,100,640 円

(2) 不要入れ歯リサイクル事業

NPO 法人日本入れ歯リサイクル協会の協力のもと、不要入れ歯（金属部分）を回収・リサイクルすることにより、収益金を地域福祉に役立てるためリサイクル事業を実施した。

回収ボックス設置場所：春日部市役所本庁舎、庄和総合支所、武里出張所、総合福祉センター

実績：回収個数 99 個 金額 24,235 円